

令和 2年度

事務事業評価表 (令和元年度 の実績評価)

記入年月日 令和 2 年 4 月 1 日

Table with columns for 事務事業名 (Project Name), 事業区分 (Project Type), 担当 (Responsible), 予算科目 (Budget Item), and 事業期間 (Project Period). It details the 'Autonomous Disaster Preparedness and Response Activity' project.

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table (1) 事務事業の概要 (Overview of the Project). It is divided into two main sections: ① 事務事業の概要 (Project Overview) and ② 担当が行う業務の内容・やり方・手順 (Task Description and Procedures).

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table (2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移 (Means, Targets, Intent, and Trend of Indicators). It contains three main parts: ① 手段 (Means), ② 対象 (Targets), and ③ 意図 (Intent), each with associated indicators and values from 30th to 04th years.

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table (3) 投入量 (事業費) の推移 (Trend of Input Quantity (Project Cost)). It shows the breakdown of costs by source (National, Prefecture, Local, etc.) and personnel, with a comparison between 30th year actuals and 02nd year budget.

Table showing the comparison of 01st year actual project costs (千円) and 02nd year budget project costs (千円). It lists items like '08 報償費' and '19 負担金補助及び交付金' with their respective values and a final '合計' (Total) of 287 for actuals and 580 for budget.

事務事業名	自主防災組織活動育成事業	事務事業No.	30101000684	所属課	防災課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
平成7年に発生した阪神・淡路大震災を教訓に、災害時における被害軽減を図るための自主防災組織の結成・育成を目的として補助金交付事業を開始した。 自衛消防団は旧真壁町時代より存在し、活動報奨金及び施設の充実強化に伴う助成制度を引き継いでいる。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
地区の事情により、結成には時間がかかることが多い					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 自主防災組織を育成することは、地域における防災力の向上につながり、防災・消防対策の充実に結び付く。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 災害対応策は「自助」「共助」の役割が重要であり、これを担う自主防災組織の結成・育成の支援に市が関与することは妥当である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 自主防災組織が結成され市民の自助の意識が高まることで成果は向上する。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 市民の災害に対する自助の意識が醸成されなくなる。	
効率性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名
	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 他の事業との統廃合は難しい。
	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある 最低限の費用で実施している。	
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 市内全地区を対象としている。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	未結成地区でも土砂災害警戒区域を有する地区を優先的に結成促進したが、結成が進まない地区もあるのが実情である。																								
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上 維持 低下</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上 維持 低下	コスト			削減	維持	増加				○											
成果	向上 維持 低下	コスト																								
		削減	維持	増加																						
			○																							
地域の状況が様々であり、自主防災組織がなかなかまとまらない地区があるが、根気強く結成促進を図り結成率を向上させる。また、既存の組織でも活動が停滞している地区があるので、育成支援も合わせて行っていく。		(6) 事務事業優先度評価結果																								
		成果優先度評価結果 <input type="checkbox"/> ①																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続 (現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続 (改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>